KOIZUMI

コイズミ学習机
取扱説明書
（保証書付き）

保存用

このたびはコイズミ学習机をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 事故防止等、安全のため、「使用上の注意」を必ずお守りいただいてご使用ください。
- お読みになった後は大切に保存していただき、取扱いのわからないときにお役立てください。

目　次

1 品番…… 1
2 各部の名称…… 2
3 組立方法 …… 3～9
4 使用方法…… 10
5 ミドルベッドからローベッドへの組替え方法 …… 11･12
6 ベッドの使用上のご注意 …… 13
7 使用上のご注意 …… 13
8 点検と修理が必要なとき …… 14
9 コイズミ学習机保証書 …… 14
10 お客様ご相談窓口 …… 14

1 品番

キッズコンポ

NOCM-323 NS
NOCM-324 PK

※組み立てのまえに

1. この商品は部品・部材点数が多いため、各ユニットごとの組み立てをしてください。
2. 組み立てる順番は①ベッド、②デスク、③チェストの順で組み立ててください。

この取扱説明書のマークについて　SAFETY INFORMATION

警告 WARNING　説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。
A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

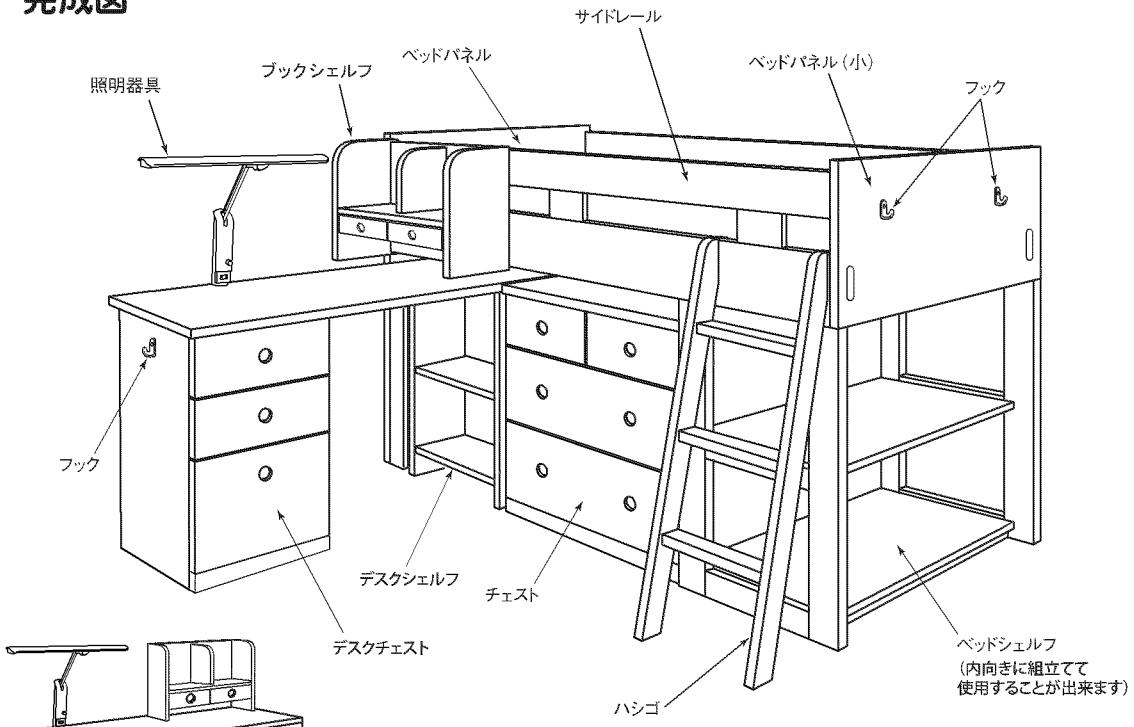
注意 CAUTION　説明書中の「注意」は傷害や物的損害の原因になる危険を示します。
A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.

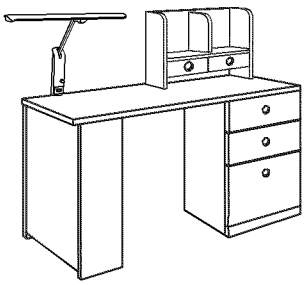
このマークのついている説明文は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS MARK.

このマークのついている説明文は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH THIS MARK.

2 各部の名称

完成図

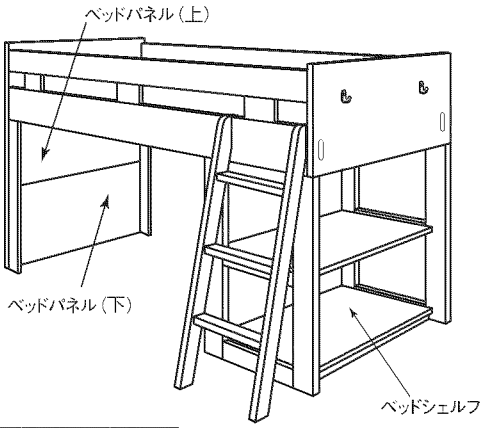




デスクチェスト、デスクシェルフは
左右付替え可能です

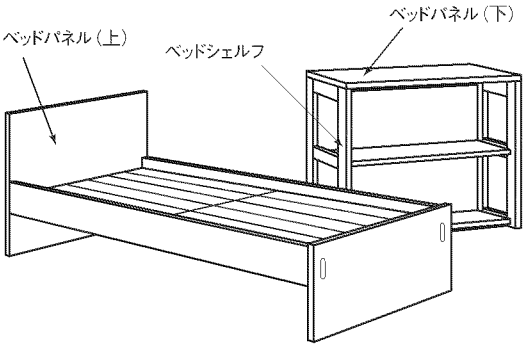
ベッドの組立は下の２パターンからお選びいただけます。

■ ミドルベッドタイプ



組立方法(P3～P5)

■ ローベッドタイプ



組立方法(P6・P7)

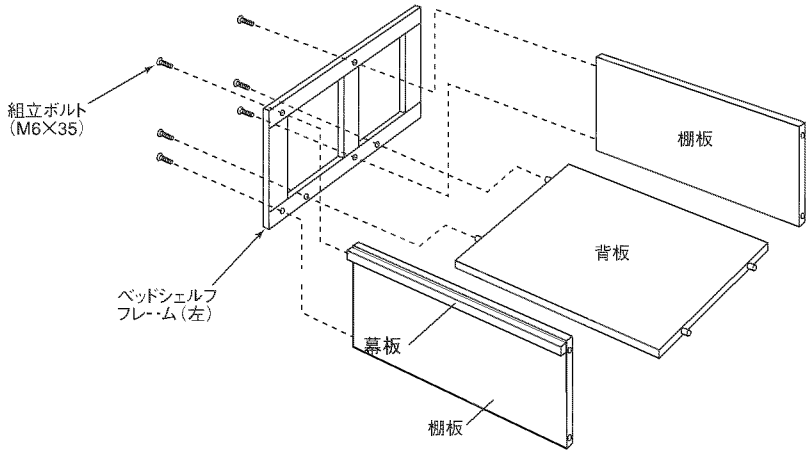
3 組立方法（ミドルベッド） ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

（1）ベッドシェルフの組立

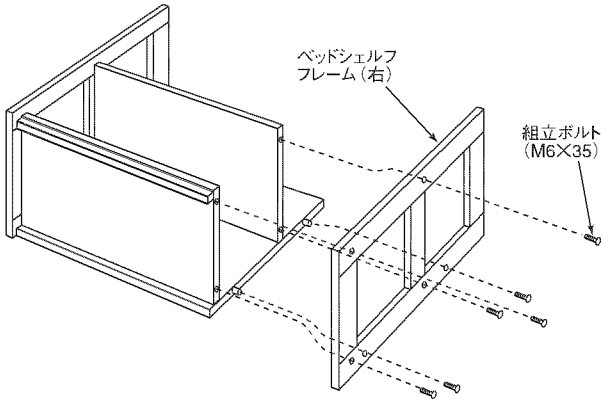
①ベッドシェルフフレーム（左）と棚板2枚、背板、幕板を組立ボルト（M6×35）6本にて仮締めしてください。

■付属部品

部　品　名	部品品番	数量
組立ボルト（短:M6×35）	GKU4BA635	12本

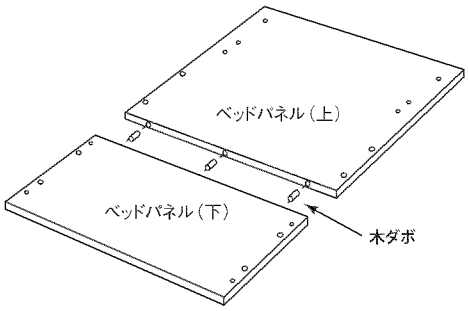


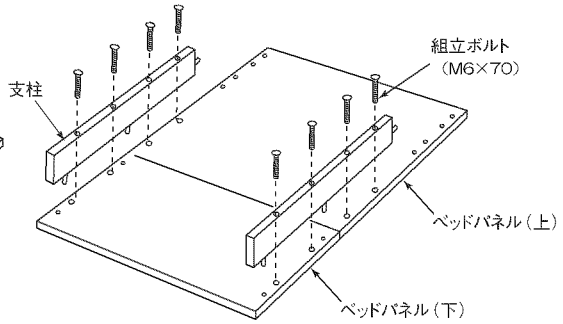
②次に反対側のベッドシェルフフレーム（右）を組立ボルト（M6×35）6本で組上げてください。
組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。



（2）ベッドパネルの組立

①ベッドパネル(上)・(下)を木ダボ3本で図のように合わせてください。
②ベッドパネル(上・下)に支柱2本を組立ボルト(M6×70)8本にて取り付けてください





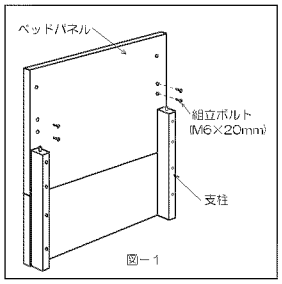
■付属部品

部　品　名	部品品番	数量
組立ボルト（M6×70）	GKU4BA670	8本
木ダボ（Φ8×30）	―――	3本

⚠ 支柱には向きがありますので、ご注意ください。

3 組立方法(ミドルベッド) ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

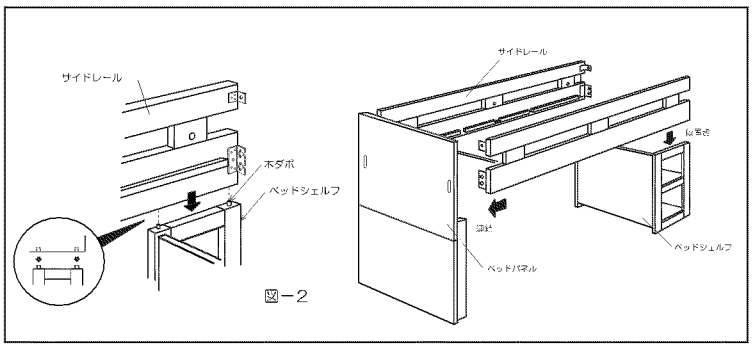
(3) ベッドの組立



図−1

① (2)で組立てたベッドパネルに組立ボルト(M6×20mm)4本を仮止めします。(ネジ部が10mm程度残るように止める)(図-1　図-3)

② 次にサイドレールをベッドシェルフに仮置きさせた状態で、ベッドパネルとサイドレールを以下③の手順の通り連結します。
この時、仮置きしたサイドレールが脱落しないよう支えながら作業を行なってください。(図-2参照)



図−2

■付属部品

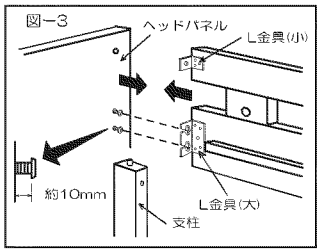
組立ボルト(M6×20mm)	GKU4BA620	8本
組立ボルト(M6×16mm)	GKU4BA616	4本
組立ボルト(M6×70mm)	GKU4BA670	4本
開き止め固定ボルト(M6×20mm)	GKU4BA620	2本
開き止め固定ナット	GKU4JN14A	2本
樹脂カバー(大)白	SZC9UKPDW	4個
樹脂カバー(小)白	SZC9UKPCW	4個

※NOCM-324PK

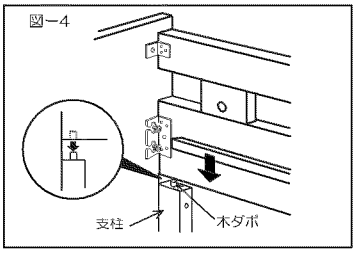
樹脂カバー(大)ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	SZC9UKPDV	4個
樹脂カバー(小)ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	SZC9UKPCV	4個

※NOCM-323NS

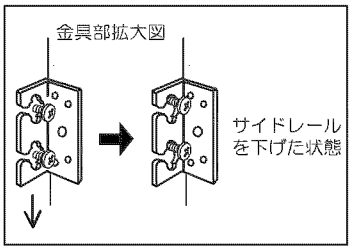
③ サイドレールのL金具(大)中央の孔に①で取付けたベッドパネルのボルトを通しながら支柱上部の木ダボとサイドレール下面の孔を合わせサイドレールを連結します。
(図-3,図-4参照)



図−3

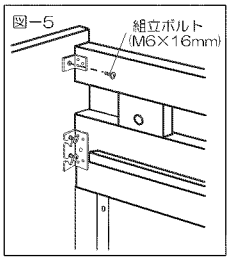


図−4

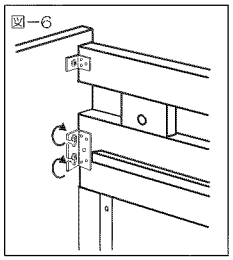


④ サイドレールのL金具(小)とベッドパネルをボルト(M6×16mm)で止め固定します。
(図-5参照)

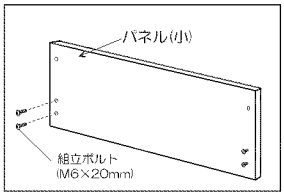
⑤ L金具(大)を引掛けたボルトを締め固定します。
(図-6参照)

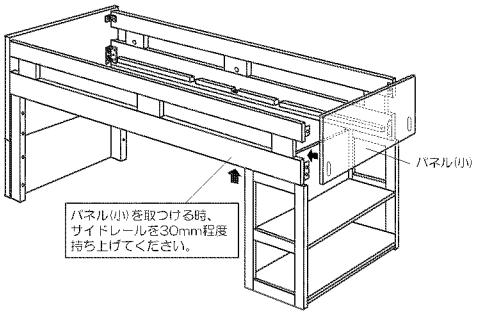


図−5

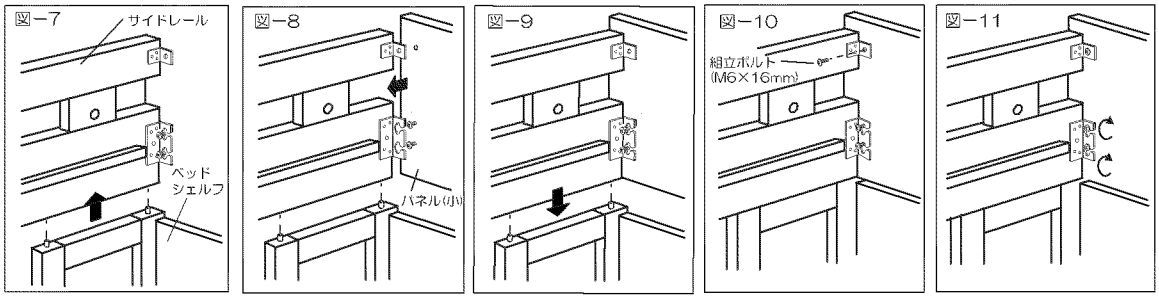

図−6

⑥ 続いて、パネル(小)に上記①同様に③と同じ手順でパネル(小)とサイドレールを連結します。
この時仮置きさせたサイドレールを少し浮かせてパネル(小)と連結させてください。
(図7～11参照ください)





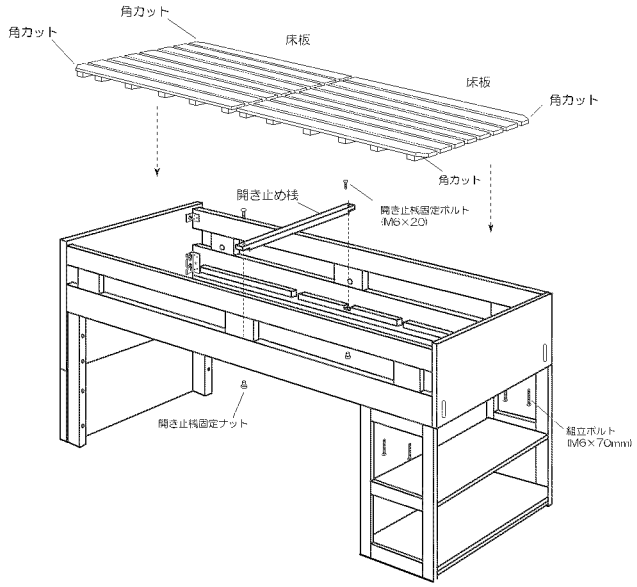
3 組立方法（ミドルベッド） ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

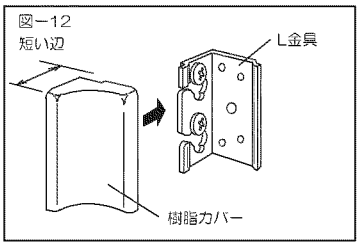


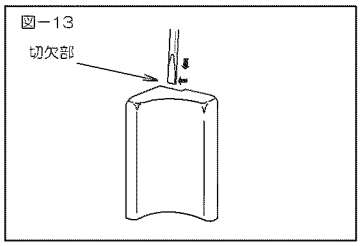
⑦ 組立ボルト(M6×70mm)4本をベッドシェルフの左右側板(上部)の下から通し、サイドレールの下面に止めてください。

⑧ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト（M6×20mm)2本、開き止め桟固定ナット2本にて取付てください。

⑨ L金具(大、小)に樹脂カバー(大、小)をかぶせます。
図-12のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。
はずす場合は図-13のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい、軽くこじてはずしてください。







⑩ 床板を上図のように注意してはめ込んでください。
➡方向を逆にしますと、床板の破損やけがの原因になります。
(角を斜めにカットしている方がそれぞれ外向きになります。)

⑪ カバンフックの取付方法についてはP10を参照ください。

■付属部品

部品名	部品品番	数量
カバンフック	GKU4KF90W	2個
カバンフック用ボルト	GKU4BU61W	2本

※NOCM-324PK

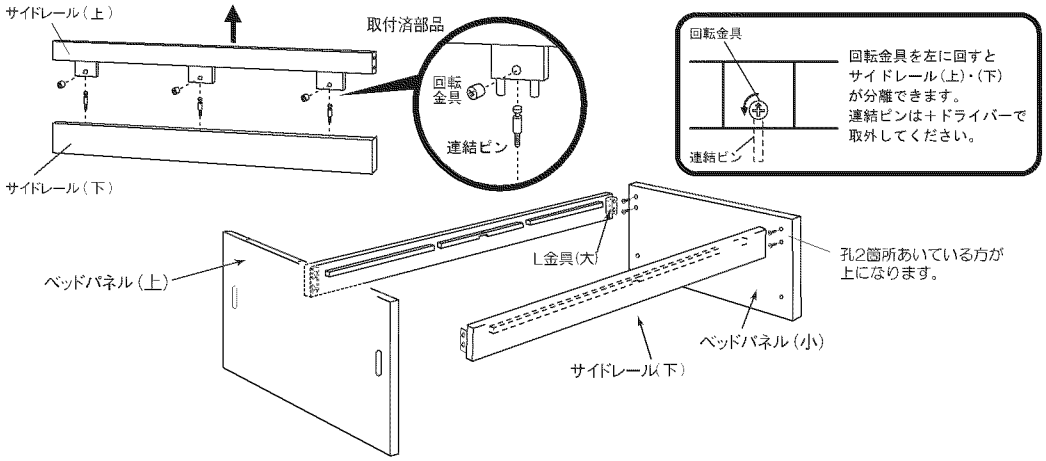
カバンフック	GKU4KF90R	2個
カバンフック用ボルト	GKU4BU615	2本

※NOCM-323NS

3 組立方法（ローベッド）　※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

（3）ベッドの組立

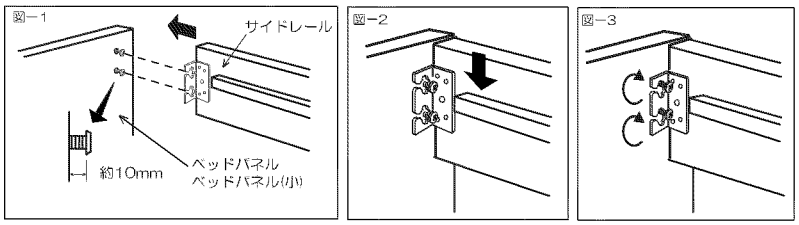
① サイドレール内側の回転金具6個を回し、サイドレール（上）を取り外します。
次に、残っている連結ピンを取り外しサイドレール（下）を上下逆さまにします。

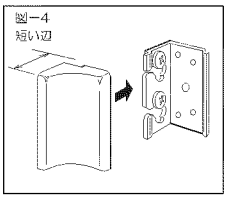


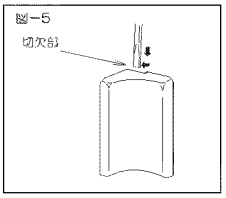
② ベッドパネル(上)とベッドパネル(小)に組立ボルト(M6×20mm)8本を仮止めします。(ネジ部が10mm程度残るように止める)

③ サイドレールのL金具(大)中央2箇所の孔に、②で取付けたベッドパネル及びベッドパネル(小)のボルトを通し、　逆さまにしたサイドレール（下）を連結します。〔図-1,図-2参照〕

④ L金具(大)を引掛けたボルトを締め固定します。(図-3参照)



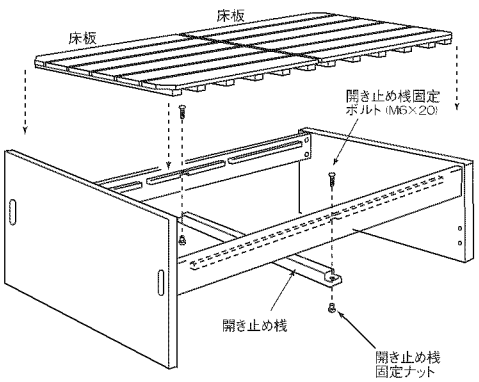




⑤ 開き止め桟を開き止め桟固定ボルト(M6×20mm)2本、開き止め桟固定ナット2本にてしっかりと締め付てください。

⑥ L金具(大、小)に樹脂カバー(大、小)をかぶせます。図-4のように、樹脂カバーの短い方の辺をパネルに沿わしながら、L金具に対し平行にカチッという感触がするところまでスライドさせて取付します。はずす場合は図-5のようにマイナスドライバー等の先の平らな工具を樹脂カバーの切欠部にあてがい軽くこじてはずしてください。

⑦床板を上図のように注意してはめ込んでください。
➡方向を逆にしますと、床板の破損やけがの原因になります。
(角を斜めにカットしている方が、それぞれ外向きになります。)



⚠ ローベッドとしてご使用の際は、キズからパネルを保護する為に、フェルトなどをご用意ください。

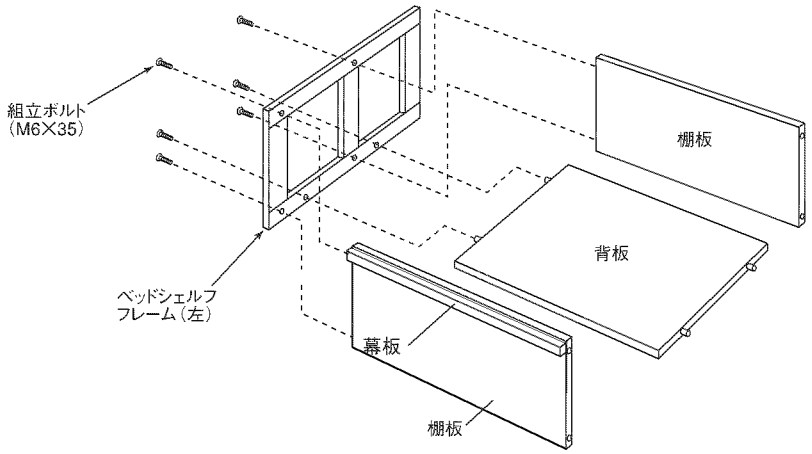
3 組立方法（ローベッド）　※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

（1）シェルフの組立

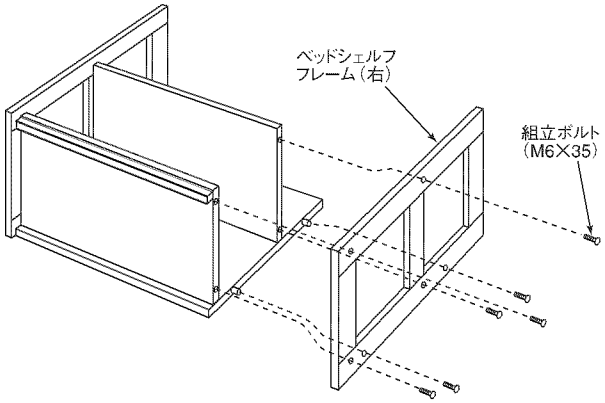
①ベッドシェルフフレーム（左）と棚板2枚、背板、幕板を組立ボルト（M6×35）6本にて仮締めしてください。

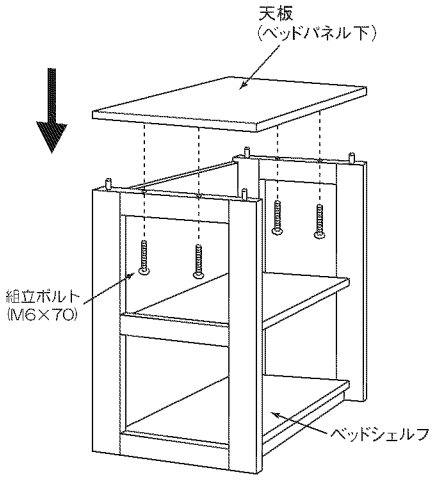
■付属部品

部　品　名	部品品番	数量
組立ボルト（短:M6×35）	GKU4BA635	12本



②次に反対側のベッドシェルフフレーム（右）を組立ボルト（M6×35）6本で組上げてください。
組み上がりましたら、すべてのボルトをしっかりと締め付けてください。





③②で組み上がったベッドシェルフとベッドパネル(下)を組立ボルト(M6×70)4本にて組上げてください。

※ミドルベッド時のベッドパネル(下)が左図のシェルフ用天板になります。

■付属部品

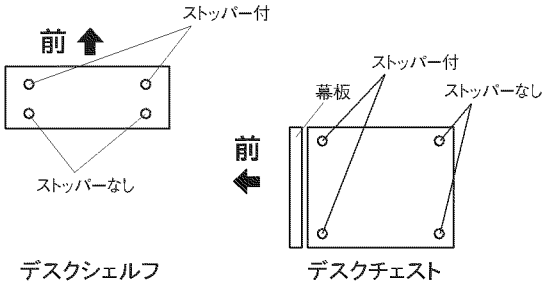
部　品　名	部品品番	数量
組立ボルト（M6×70）	GKU4BA670	4本

※支柱と余った部品は、ミドルベットに組み替えるときに必要となりますので、大切に保管してください。

3 組立方法（デスク） ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

（1）キャスターの取付け

①デスクチェスト・デスクシェルフ 地板の裏にキャスター4個をしっかりと差し込んでください。

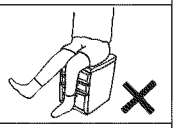


➡不十分な場合は、けが・破損・ガタツキの原因になります。

⚠ 警 告

●天板には20kgを超えるものをのせないでください。
➡けが・破損の原因になります。
（天板中央部垂直耐荷重：70kg）

●天板や引出しの上に乗らないでください。
➡けが・破損の原因になります。



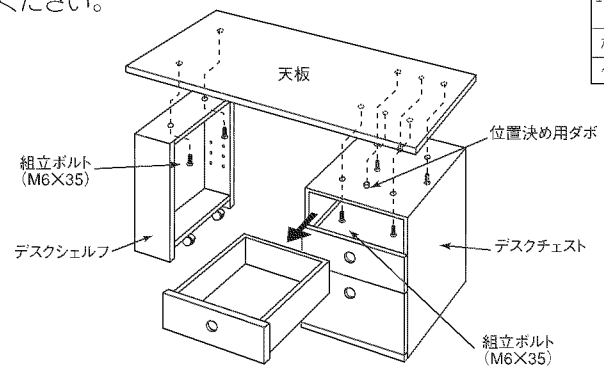
●激しく動かしたり、押して遊んだりしないでください。
➡倒れてけがをしたり、他のものをこわしたりする原因になります。
●水平を保つように置いてください。
➡ガタツキのまま使っていると、引出しの出し入れがスムーズでなかったり、けが・破損の原因になります。

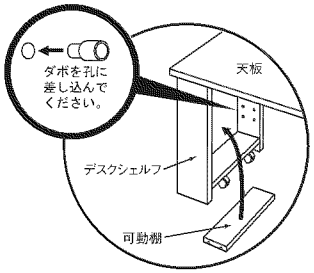
（2）天板の取付け

①天板をしずかに デスクチェスト・デスクシェルフの上にのせてください。
②デスクシェルフの 内側から 組立ボルト（M6×35）2本にてしっかりと締めつけてください。
③デスクチェスト上段の引出しを抜き取り、内側から組立ボルト（M6×35）4本にてしっかりと締めつけてください。
④デスクシェルフに棚ダボをお好みの位置に取り付けて可動棚をセットしてください。
⑤カバンフックの取付け方法についてはP10を参照ください。

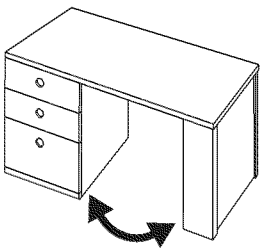
■付属部品

部品名	部品品番	数量
組立ボルト（M6×35）	GKU4BA635	6本
カギ		
※NOCM-323NS	LTFTKD503	2本
※NOCM-324PK	LTFTKD504	2本
キャスターｾｯﾄ（ﾃﾞｽｸﾁｪｽﾄ用）	SZCTWC946	1set
（ﾃﾞｽｸｼｪﾙﾌ用）	SZCTWC90G	1set
カバンフック		
※NOCM-324PK	GKU4KF90W	1個
※NOCM-323NS	GKU4KF90R	1個
カバンフック用ボルト		
※NOCM-324PK	GKU4BU61W	1本
※NOCM-323NS	GKU4BU615	1本
棚ダボ	SZCTTD850	4個
ペントレー		1個

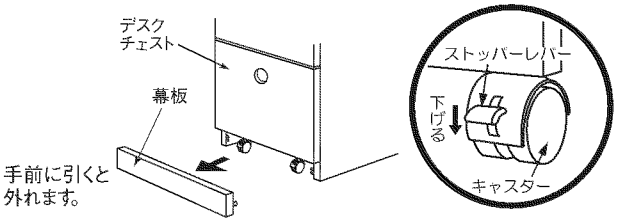




●デスクチェスト、デスクシェルフは左右付替え可能です。

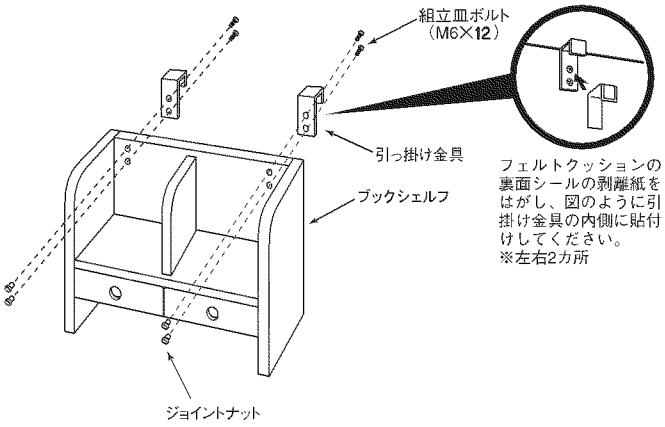


●デスクはキャスターにより、自由に移動できます。
移動を止めたい時は、デスクチェストの幕板を外して、キャスターのストッパーボタンを押してください。



3 組立方法（ブックシェルフ） ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

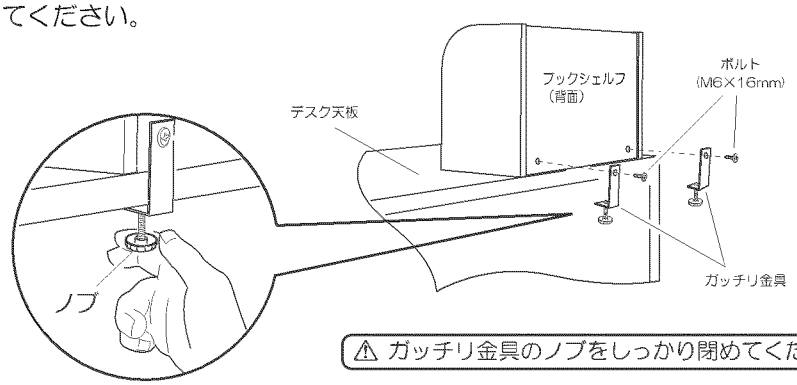
●ベッドのフレームに、ブックシェルフを取り付けて、ご使用になるときは、図のように引っ掛け金具をはさみ込むようにジョイントナット4個と組立皿ボルト4本にて組み上げてください。組立皿ボルトをしっかりと締め付けたあと、拡大図のように、キズ防止のフェルトクッションを貼付けしてください。



■付属部品

部　品　名	部品品番	数量
組立皿ボルト（M6×12）	GKU460S12	4本
ジョイントナットAタイプ	GKU5JN12A	4個
引っ掛け金具	DRK6HKBKS	2個
フェルトクッション	GKU6FS212	2枚
ガッチリ金具	RINTGK90G	2個
組立ボルト（M6×16）	GKU4BA616	2本

●天板の上でご使用になるときは、図のようにガッチリ金具2個をボルト（M6×16mm）2本を用いて、取り付けてください。

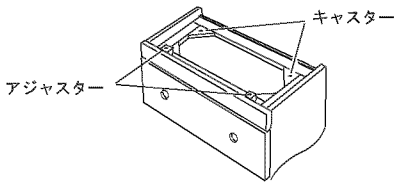


⚠ ガッチリ金具のノブをしっかり閉めてください。

3 組立方法（チェスト） ※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

（1）キャスターの取付け

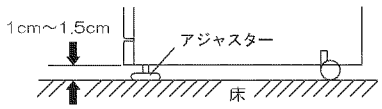
●地板の裏、後方にキャスター2個、前方にアジャスター2個を取付けてください。



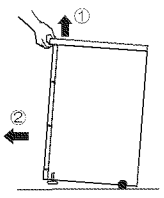
■付属部品

部　品　名	部品品番	数量
キャスターセット	SZC8WC947	1set
アジャスター	GKU8TC840	2個

●取付けが終わりましたら、チェストが水平になるようにアジャスターを調整してください。
床との隙間は1センチ～1.5センチが目安です。



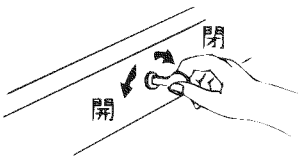
●チェストは後方のキャスターにより、自由に移動できます。
移動したい時は、天板前方を両手で持上げて動かしてください。



4 使用方法

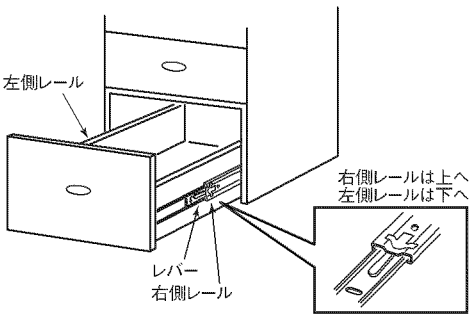
（1）カギ

●カギを右まわしすると閉ります。
●カギを左まわしすると開きます。



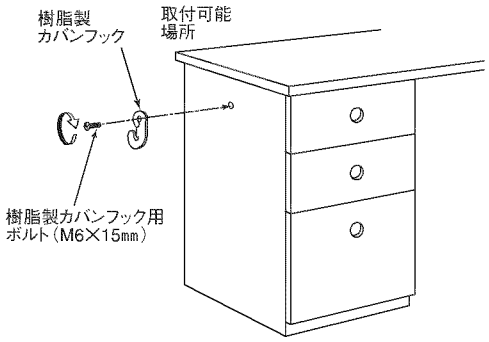
（2）引出し

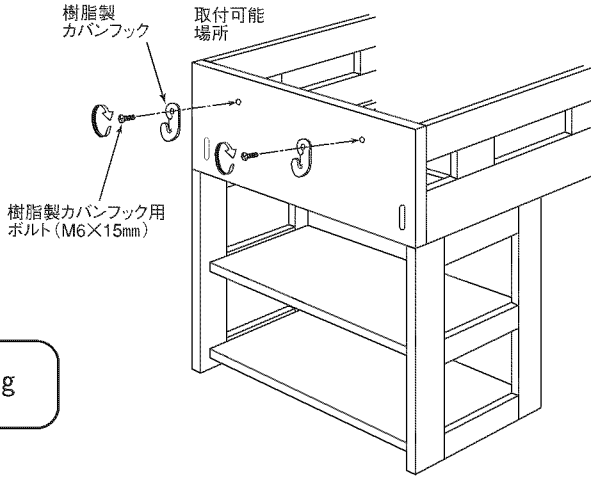
●ワゴン下段引出し3段引きレール
●レバーを上へ（左側は下へ）押しながら引出しを抜くとはずれます。



（3）フックの取付け

●フックはデスクチェストの側板の左右どちらでも取付できます。
●ベッドのパネル（小）にも取付できます。
⊘フックには、10kgをこえるものを掛けないでください。また、衝撃を加えたりしないでください。
➡けが・破損の原因になります。





⚠ フックの耐荷重10kg

（4）照明器具のご使用方法

●別梱ライト（PCL-840　PCL-841）のケース内に、取扱説明書が入っていますので必ずお読みください。

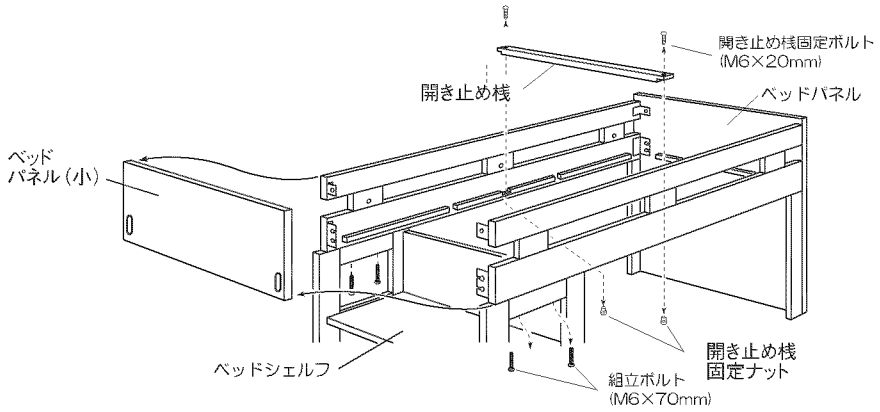
5 ミドルベッドからローベッドへの組替え方法

※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

① 床板を取外します。
開き止め桟を外します。

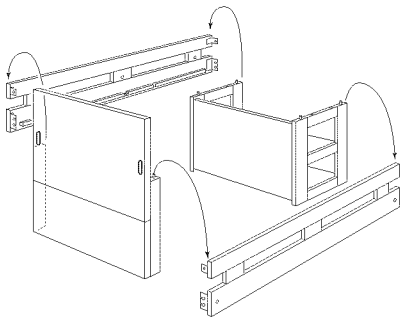
② ベッドシェルフフレーム上部の組立ボルト(M6×70mm)4本を取外します。

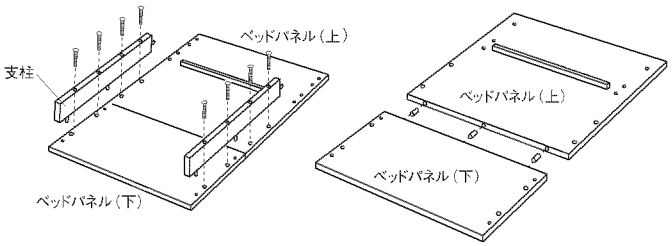
③ L金具(大、小)の樹脂カバーを外します。(ページ5-⑩参照)



④ 組立時と逆の手順で、ベッドパネル(小)を取外し、サイドレールとベッドパネルを分離します。

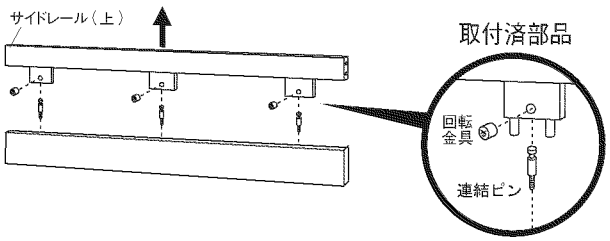
⑤ サイドレールを取外した後、ベッドパネルを分解します。3ページ(2)ベッドパネルの組立の逆の手順で、支柱を取り外し、ベッドパネル上下を分離してください。

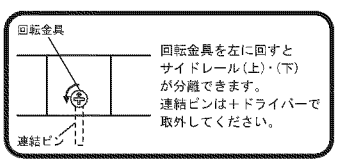




サイドレールの分解

⑥ サイドレール(内側)の回転金具6本を回し、サイドレール(上)と連結ピンを取外します。



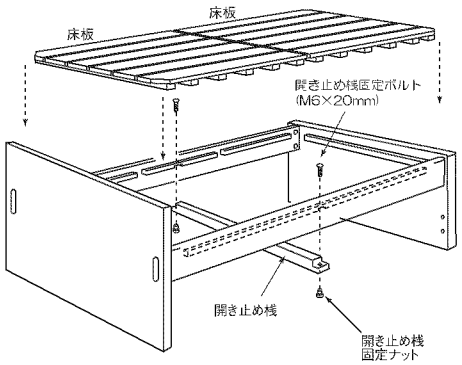


⚠ ベッドは重量がありますので、十分注意して作業をおこなってください。

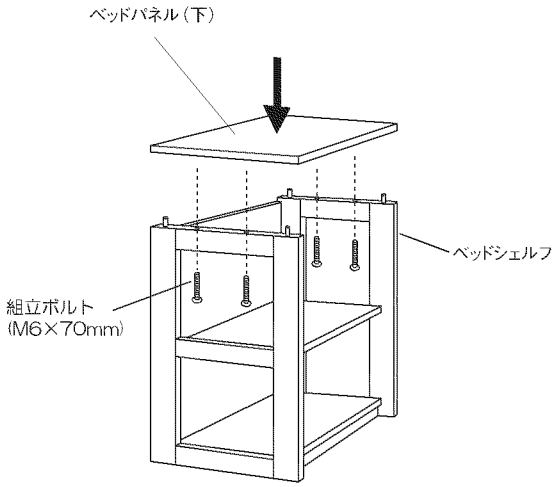
5 ミドルベッドからローベッドへの組替え方法

※組み立ては、必ず2人以上でおこなってください。

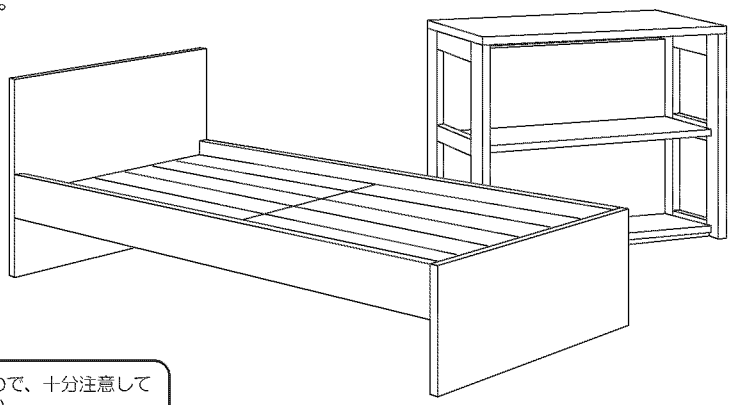
⑦ P6の要領で、ローベッドを組立てます。



⑧ ⑤で分解したベッドパネル(下)を同じく⑤で取外した組立ボルト(M6×70mm)4本でベッドシェルフに取付けます。



⑨ ローベッドの完成です。



⚠ ベッドは重量がありますので、十分注意して作業をおこなってください。

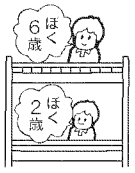
⚠ ローベッドとしてご使用の際は、キズからパネルを保護する為に、フェルトなどをご用意ください。

6 ベッドの使用上のご注意

⚠ 警　告

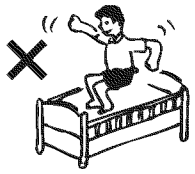
●けが等の事故の原因になります。

このベッドの使用年令は6歳以上です。



二段ベッドの使用年令は2歳以上です。5歳以下は下段を使用してください。

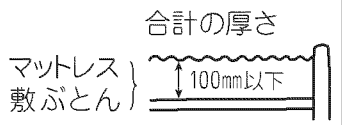
ひも類等の危険なものを取付けないでください。



ベッドの上で、とんだりはねたりしないでください。

ベッドの上段へ上がる時や降りる時は、必ずはしごを使ってください。

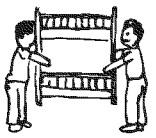
手すり、ねじ類は、その取付けが確実かどうかをときどき点検してください。



敷ぶとん類は、前わく・後ろわくおよび側板との間にすき間が生じないもので、敷ぶとん類の合計した厚みは、100mm以下にしてください。

手すり、前わく、後ろわく等に腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください

ベッドを使用しないときは、着脱式はしごをベッド上段に上げておいてください。

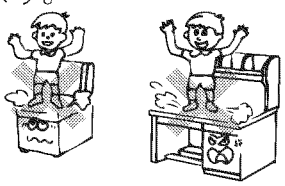


ベッドを移動する時は、手でしっかり持って運んでください。

7 使用上のご注意

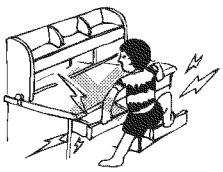
⚠ 警　告

●けが・破損の原因になります。

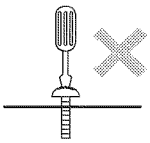


机やいすの上に立ったり、とんだり、踏み台代りに使ったり、不安定な姿勢で掛けたりしない

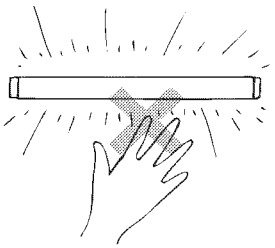
引出しや引手の上に乗ったり、扉等にぶら下ったり、むりな力で引っ張ったりしない



固定用ネジ類がゆるんだまま使用しない



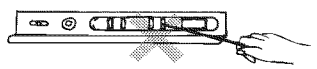
●やけどの原因になります。



点灯中や消灯直後のランプおよびその周辺をさわらない

●火災・感電の原因になります。

水洗いしたり、ぬれた手でさわったりしない

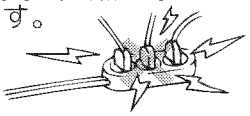


コンセントや器具に棒等の異物を差し込まない

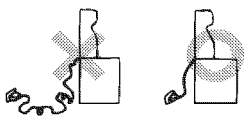
●火災の原因になります。

器具やランプに布・紙等をかぶせたり、近づけたりしない

●火災・過熱の原因になります。



タコ足配線はしない



電源コードを、無理に曲げたり、ねじったりしない

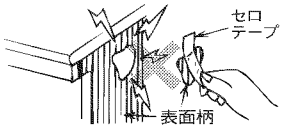
差し込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く

⚠ 注　意

●こげ・変色の原因になります。

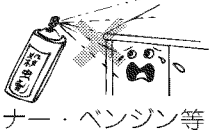
家具の上に、加熱したなべ・やかん等を直接置かない

●表面が、はがれることがあります。



天板以外にセロテープ等を貼らない

●変色・変質の原因になります。



シンナー・ベンジン等でふいたり、殺虫剤をかけたりしない

●天板の上で硬いボールペン等で書くとキズが残ることがあります。マット、下敷をお使いください。

●木材の接着剤等のにおいが残っている場合、換気を十分にして取り除くようにしてください。

8 点検と修理が必要なとき

1 より安全にご使用いただくために次のような異常があったときは電器店にご相談ください。

- コンセントや差し込みプラグが異常に熱いとき
- 器具接合部のゆるみやコードの損傷があるとき

2 部品交換の場合は電源コードの差し込みプラグを抜いてから交換をしてください。

- ランプの交換

⃠器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
➡火災・感電の原因になります。

3 取扱説明書どおりに使用されてもまだ不明な点があるときはお買い上げの販売店にご相談ください。

SA・FU
無断転用を禁ず
(社)日本家具産業振興会
☎03-3261-2805

9 コイズミ学習机保証書

品番	**NOCM-323 NS　NOCM-324 PK**
お客様	お名前
	ご住所　〒 電話番号（　　）　　—
お買い上げ日	販売店名・住所・電話番号
年　月　日	
保証期間（お買い上げ日より）	
3ヶ年	

＊ご販売店様へ
必ず全項目をご記入のうえ
お客様にお渡しください。

この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

コイズミファニテック株式会社
〒557-0063
大阪市西成区南津守2丁目1番30号
TEL　06（6658）7382

〈無料修理規定〉

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って**正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理**をさせていただきます。
　①無料修理をご依頼になる場合には**商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。**
　②お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には下記の相談窓口へご連絡ください。
2．保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
　①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
　②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
　③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障及び損傷
　④消耗品の消耗、又はそれによる故障
　⑤本書のご提示がない場合
　⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き替えた場合
3．本書は日本国内においてのみ有効です。
4．本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。

10 お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◆お客様相談室　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号　☎06（6658）7382

コイズミファニテック株式会社　〒557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

平成22年現在（所在地、電話番号等については変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）